

中瀬検定の受け方

中瀬検定の種類は、中学校の九教科すべての種類があります。それぞれ、一番やさしい段階（入門とか初級、十級など）から、難しい段階（一級とか名人など）へと、段々難しくなっていくます。各段階を経て、それぞれの教科の最難関の段階をクリアしたときに、認定証を発行します。卒業するまでに、九教科九枚の認定証を獲得できるよう頑張ってください。

第一回は、国語、数学、英語の三教科で実施します。それぞれに特色があります。

「中瀬検定 国語科」は、

暗唱（文章などを覚えておいて、何もみないで口に出して唱えること）方式が特色です。入門から入って、自分の力に応じて学年に関係なく、上級に挑戦できます。

段階は、「入門」「二級」「一級」「初段」「二段」「名人」の六段階があります。検定試験は、検定官と一対一で暗唱するのが基本ですが、今回は解答用紙に記入する形式で実施します。

「中瀬検定 数学科」は、

進級方式が特色です。各学年とも6級～1級まであり、これをクリアすると、上級学年に進級できます。なお、1年生だけ、応用問題として初段、二段、名人の段階があります。

今回は、自分の学年の級の中から挑戦する級を選ぶことを基本としますが、上の学年、下の学年の級を選ぶこともできます。

「中瀬検定 英語科」は、

雪だるま方式が特色です。雪だるま方式とは、上の級を受験するときにも一番下の級の問題全てを毎回クリアすることです。級は10級から1級までと、その上に1段から3段までがあります。従って1級を受ける人は、10級～1級までの全ての問題に答えることになります。

以上を読んで、三教科の検定テキストを見て、今回自分が挑戦する級を選んで申告し、13日の検定日へ向けて準備・練習・勉強に取り組んで下さい。

「中瀬検定 国語科」	
「中瀬検定 数学科」	
「中瀬検定 英語科」	

年 組 番 氏名